

新春号

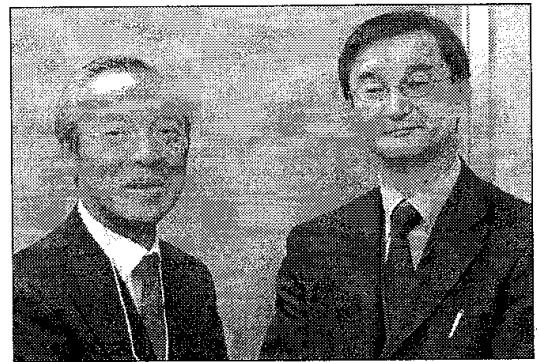
# マネ協

題字 杉村春子

有限責任中間法人  
 日本芸能マネージメント事業者協会  
 〒160-0022 東京都新宿区新宿  
 1-24-7 ルネ御苑プラザ 309  
 TEL. 03 (3225) 5984  
 FAX. 03 (3225) 5949  
 E-mail: manekyo@manekyo.com  
 http://www.manekyo.com  
 ■発行日 平成21年2月25日  
 ■発行人 山崎 讓  
 ■編集人 豊田 紀雄  
 ■印刷 谷本 企画

M A N A G E M E N T R E P O R T

## 理事長・NHK吉川部長 新春対談



る段階では「かなりいけるだろうな」という直感がありました。

**山崎** 私は見て、最初のうちはすごくいいなあと感じていたんですが、後半は宮崎さんの演技はどうなるんだろう、とちよつと思つていたんです。でも何の違和感もなかったですね。素晴らしい。

**吉川** なかったですね。例えば、堀北さんが和宮を演じられていて、お二人はさほど年齢差はないのに、明らかに天璋院さんの方が年上に見えるというね。その計算というのは22歳の方とは思えないですよ。事前の試写会の席ではみな驚嘆の声でした。

**山崎** 本当天才的な女優さんですね。ところで、NHKさんとしてはいろいろな番組がありますが、やはりドラマを局の目玉と考えていらっしゃるんですか。

**吉川** 局の目玉とまではいかなないですが、若者層を取り込む窓口になればと思つています。具体的には今年10代向けのドラマ8という枠が新設されたんですね。NHKは主要な視聴者として高齢層の方達がいるんですが、以前はNHKを見ない若い方でも年齢が上がればだんだん見て頂けるといふ安心感があつたんですね。ですが、絶大な支持をいただいている幼児番組は別として、小学生から中学生になるとどんどんNHKから離れていって、そのままずっと見ないで過ごしている方が増えてきている、という調査結果がありまして、これはNHK全体の危機感だと。

そこで2年ぐらい前からもつと視聴者層を拡大しなきゃいけないという全局的なプロジェクトが出来て、その中でドラマ8というドラマ枠が新設された、ということなんです。もちろんドキュメンタリーやエンタテイメント番組も見たい

ですが、とりあえず一番見やすい窓口としてドラマが有効だろうと新設されたわけですね。

**山崎** 民放とNHKのドラマの違いというのは今でもあるんでしょうか。

**吉川** そうですね。僕たちは明確に民放と違うように作ろうとは思ってないし、恐らく民放の方もNHKと変えてやれ、と思つて作ってるわけではないと思うんですが、テレビの歴史が何十年もある中でNHKドラマのある種のDNAは抜き難く僕らの中にあつて、同じ素材を料理しても、ちよつと肌合いが違つたり、ということはあるのかなと、表現としてね。それは一種の日本の映像界のパラティエとしてとてもいいことだと思つてますよ、NHKも民放も同じような風合いのドラマを作る必要はないと思うし。それと僕らは言つてみれば全国民がスポンサーのようなものなので、特定の企業とかに思いを馳せる必要がない分、民放さんが二の足を踏んだりするような題材にも踏み込んでいける、という所はありますね。それが見事に表現できたのが「ハゲタカ」であつたり、この間放送しました「監査法人」とかそういうところだったんだと思つてますよ。そこがある種民放さんという感じになつていっているんじゃないかと思つています。

**山崎** なるほど。ところで、我々はマネージメント事業者協会というプロダクションや劇団の集まりで俳優・タレントが主であるんですけども、民放さんなどでは特定の方が多く出ているように思います。NHKさんはいろいろなジャンル、いろいんな方を使おうと意識的にされているんですか？

(次頁に続く)



NHK制作局  
第2制作センター(ドラマ番組)  
吉川幸司 部長

て頂くのではなくて、題材に合わせてふさわしい方を抜擢であつてもやって頂くというのは結構意識しているところではありますね。

**山崎** すごく励みになります。特定の人ばかりになってしまつと広がりが見えないですよ。主役だけではドラマは出来ないわけ、たぐさんの脇役がいて良い脇役もいればいいんですが、ややもすると最近の若い人はすぐ主役になりたいとか有名になりたいとかいうのでどうしてもしやうい人ばかり見ちゃうんですけど、局のように作品にあつた方を起用して頂くというのはすごく嬉しいですね。

**吉川** 僕らもいろんなお芝居を見に行つたりして若い人たちが発掘してきたところがあるのですね。高橋克美さんも僕がまだ演出していた頃に出て頂いていますね。もう二十年くらい前で、まだ離風霊船という劇団にいらした時代ですね。面白い役者さんだな、と思つた記憶がありますね。

**山崎** 高橋さんにしろ、ある意味では宮崎さんもそうですね。

**吉川** 朝ドラの主演の方がそのまま大河の主役を直結でやると言うことは今までなかつたですね。何年かおいてからというのはありましたけど。

**山崎** 渡辺謙さんは主役ではありましたが男性の若いほうの主役という感じでしたしね。

**吉川** そうですね。

**山崎** 局の傾向としては作品を中心に考えると言うことですね。

**吉川** そうですね、全てのドラマがというわけではないのですが、特に土曜ドラマなんかはその傾向が強いですね。僕らも視聴率は取りたいですが、

それが第一目標ではなくて、ある種のメッセージ性を持った世の中にどう問いかけていくか、というドラマを土曜ドラマとしては作っていきたくて思っていますので、その場合は出演者の方の人気とかに頼るのではなくて、題材の面白さと脚本の面白さと演技者の演技の質で提示していく、ということも崩れないと思えますけどね。

ですが、その人の人柄を見ているような気がしてしょうがないですね。

**山崎** ますますいろんな意味で面白い夢を持てるような番組をどんどんやって頂きたいと思うのですが、ちょっと話題は変わりますが、去年からNHKオンデマンドが始まりましたけれども、いかがですか？

**吉川** スタートしたばかりなのでまだ契約数も多くないですが、思ったよりは皆さんいろいろ見て頂いているという感じは持っていますね。

**山崎** それはアーカイブスの方ですか？それとも見逃しサービスの方ですか？

**吉川** 難しいですね(笑)こうやれば必ず生き残る、という公式っていうのはない気がしますが、TVという特質から言うと、お客様は演技者の向こうにその人の人生を見ている感じがするんですよね。昔は銀幕のスターなんていつて私生活は全く見せないでいたんですが、演技の向こうにその人の人柄さえも見通してしまつて視聴者って怖いなと思うんですが、そう考えると、その方の生きていく姿が彷彿とさせるような方が大体ずっと残つてらつしやると思うんですよね。

**山崎** それはアーカイブスの方ですか？それとも見逃しサービスの方ですか？

**吉川** 両方ですね。まだそんなに世間の方それほど存じないと思うのでこれからだと思いますが、プロードキャストって投げ捨てるって意味じゃないですか。そうやって広く投げ捨ててきたテレビメディア、初めて一過性だったTVが、見逃しサービスによって、止めといてお客様の要求に従つて出せるという初めて違う側面を持つたわけなので、そこは楽しみですね。僕らはある種作品を作っているという思いもありますんで、それがアーカイブスという形で残っていくというところで励みにはなりますね。

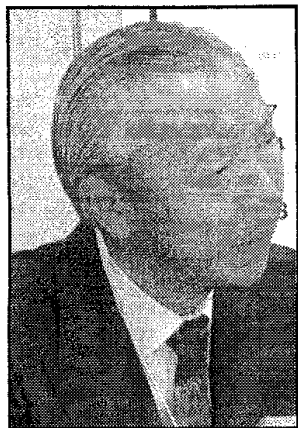
**山崎** なるほど。

**吉川** 役者さんの側からすればじゃあどうすれば良いんだって話になりそうですね。けど(笑)持つて生まれた物もあるでしょうし、その人がどういふ人生を送られたかということもあるんでしょうけれども、非常に平凡ない方をすれば、いろんな苦労をされて主役とかメインに上がってきた方はいろんな悲しいことなんかを背負つてらつしやいますよね。でも明るくされてたりして、そういう姿をちゃんとお客様は見通すんじゃないかと。最近笹野さんとか、高橋さんもそうですね。

**山崎** 役者にとつてもそうですね。最後に、マネージャーもしくは役者に望むことがなにかございますか？

**吉川** 僕はプロデューサーなので、マネージャーさんといろいろお話をしたりずっと仕事をしてきたりするところと言うと、マネージャーという肩書きではあるけれどもプロデューサーであると思つています。僕は番組のプロデューサーで、あなたはあの俳優さんのプロデューサーであるというところという、昔のマネージャーさんはちゃんと自分で本を読んで、この本を解

読んだら、その本を解



マネ協  
山崎 讓 理事長(円企画)

釈して、もつとすごい方だとこの本の狙いを解釈して、それだったらこの役者さんは山崎 出るよ、と。

吉川 とかね。そういう意味で解釈と解釈のぶつかり合いがあったんですね。また、逆に教えられたりしてね。この役だったらあそこの人なんかいいですよ、とか他の役者さんのことを言う方もいたりしてね。そういう意味で言うと俳優プロデューサーとしてのスキルという能力が高かった気がしますよね。またご自分のところの俳優さんのことも非常に冷静にみていらっしやる。だから僕ら教わることも多かったですよ若いディレクターだった時にね。ペテランのマネージャーの方からね。ところが昨今みていると、どうも特にお若いマネージャーの方なんかは単にスケジュールをはめ込んでいく、という作業だけになっている所もありますよね。これは僕ら側のディレクターの中にもそういう問題はあるんですが、場合によっては役者さんが全部決めると。それはそれで自分が出るんだからいいんでしょけれど、役者さんはどうしてもご自分を中心に考えるから、正しくない時もありますよね。何のためにマネージャーが必要かという、そういう時に非常に主体的な作業である俳優という作業を、身内の立場から冷静に見てあげられる人、つていうことを思うんですけども、今は位置関係がそういう感じではなくて、俳優さんの言うままに走り回っているという方も若干いらっしやると思うと、それは日本の俳優業界、役者さんにとつてもあまり得なことじゃないなあと思うので、是非そういう文化がまた復活してくれればいいなあと思いますね。

山崎 それは大変貴重なご意見ですね。まあ、若い方に関しては仕方ないのかなと

も思います。もしかすると少しマネージャーに余裕がなくなつたのかな、と思いますね。昔は未曾有に仕事があつたりして、少しそういう意見を出しても仕事は大丈夫、つていう所はあつたかなと。

吉川 ああ、それはそうかもしれないですね。山崎 でもそういうマネージャーがどんなマネ協でも増えてくれれば、信頼関係も出来るし。

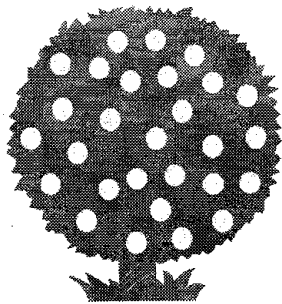
吉川 そうですね、そのマネージャーさんが言えばもう安心だつて言うのがありましたが、昔、この人が言ってきたんだから間違いないから出て頂きましょう、みたいなところがありましたもんね。そういう関係になると良いと思いますよね。

山崎 またマネージャーの勉強会もしなきゃいけないんですけど、現場で触れながら勉強していくということも踏まえてやっていきたいと思います。

吉川 僕らが教わりたいですね。僕らいろんな先輩のマネージャーの方に教わってきたから、今の若い方にも是非教えていただきたいと思えますね。

山崎 そうですね。どうも本日はありがとうございました。

(編集・若泉絵子)



## 第2回 こんなこと聞いてもいいの？新人マネージャーQ&A《声優編》

### Q. 必要とされるマネージャーとは？

A. 最近の若いディレクターさんはわかりませんが、年配のベテランディレクターさんの中には、自分の事務所の俳優だけでなく、他事務所や他劇団の俳優の情報を持っているマネージャーを求めている方が多いです。例えば「この役に合うジュニアがいるかな」と聞かれて、自分の事務所になくても「〇〇事務所の△△さんならピッタリだと思います」などと回答出来ることはディレクターさんとの信頼関係を生むことになります。それには知識を広げていく努力をしなければなりません、大先輩のマネージャーさんの中にはそういう方が多かったです(某先輩K)

★いかがでしたか？なかなか一朝一夕にはいかないことではありますが、現場に立ち会ったり他事務所のサンプルを聞いたり劇団の芝居を観に行ったりすることで少しずつでも知識を蓄えることが出来るのではないのでしょうか。地道な努力あるのみ、頑張ってください！

《このコーナーで質問したいことがありましたらマネ協事務局までメールでお寄せ下さい》



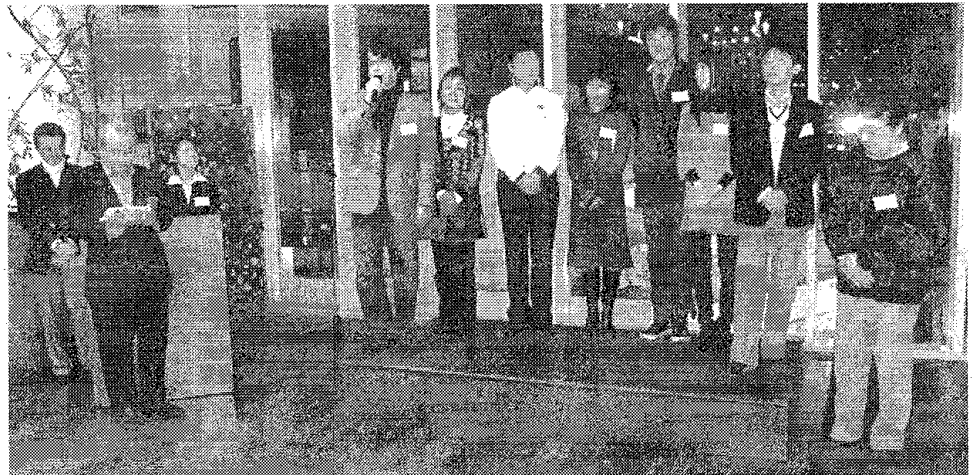
小野副理事長による乾杯の発声

# 2009 新年会報告

本年1月8日、原宿のベニーレベニーレにて、恒例のマネ協新年会が開催され、会員や関係各社の皆様53社108名のご出席により、盛会となりました。



賛助会員の榎オセロット 赤司学文氏によるご挨拶



公演出演者の皆さんと演出家の勝田守彦氏によるご挨拶



■マネ協・新年会に景品提供を頂きましたこと、理事会一同厚く御礼を申し上げます。

榎アーツビジョン  
アール・エム・イー榎  
榎アィムエンタープライズ  
榎青ニプロダクション  
榎アクセント  
榎岩淵ぐるうぶ  
WinnerEntertainment  
[Powerd by ウィナー榎]

榎プロダクション・エース  
榎81プロデュース  
M.M.P  
榎円企画  
榎ケッケコーポレーション  
榎現代制作舎  
榎ケンユウオフィス  
榎シグマ・セブン

榎仕事  
榎スターダス・21  
劇団昴  
青年座映画放送榎  
榎プロダクション・タンク  
榎テアトル・エコー  
榎TABプロダクション  
東京俳優生活協同組合

榎オフィスのいり  
榎ビーボ  
榎B-Box  
プランニング・メイ榎  
榎文学座  
榎放映新社

## 第9回・劇団研究所卒業生スカウトオーディションのお知らせ

会員社の新人獲得の一助となっております劇団研究所卒業生スカウトオーディションを、今年も3月2日に開催致します(詳細は別途ご案内)。

今回は、円、青年座、テアトル・エコー、文学座の四劇団です。

■日時:3月2日(月)11:30~17:30、恵比寿エコー劇場にて

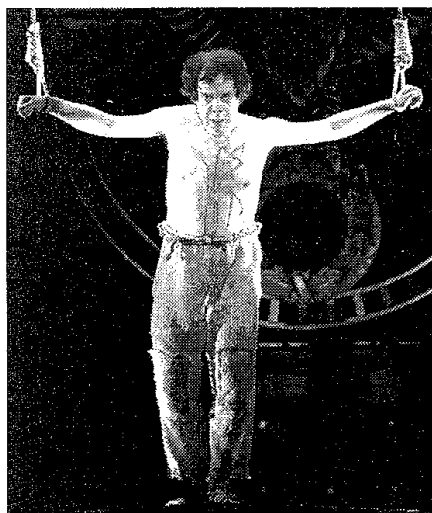
# 第3回マネ協プロデュース公演



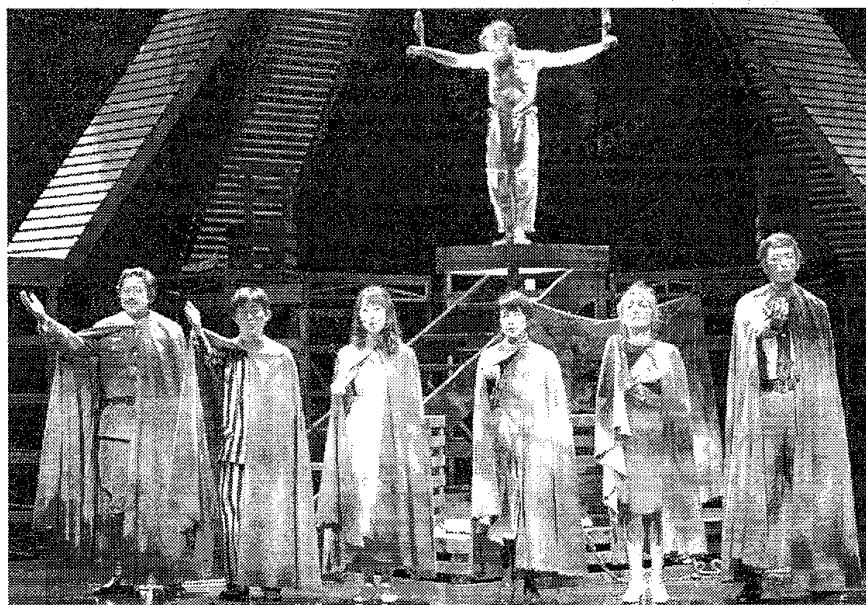
## ミュージカル「フィレモン」ご報告

昨年4月の告知後、5月17日・18日には出演者オーディション、該当者無しの役については2次募集も行われ、数多くの応募者の中から7名の出演者が選ばれました。

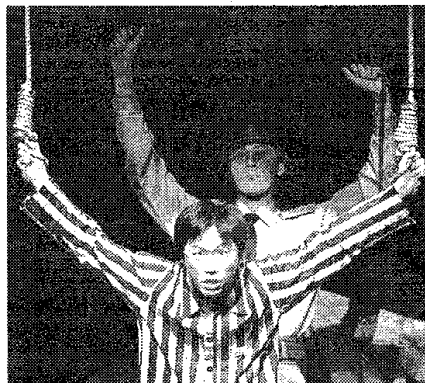
そして12月からの稽古を経て、1月22日、東池袋あうるすぽっとでの公演が始まりました。28日千秋楽までの9ステージで、1,657人の観客を迎えることが出来ました。多くの皆様にご協力を頂き、誠に有り難う御座いました。



立川三貴(円企画)



寺泉憲(スタッフ・テン)、梶野稔(民藝)、田口愛(トム・プロジェクト)、ささいけい子(プロダクション・タンク)、杉村理加(テアトル・エコー)、星野貴紀(オフィスPAC)、(左から)



### ☆ミュージカル「フィレモン」を観て…。

フィレモンを観劇した東京アナウンス学院の生徒さんから、感想を頂きました。

こんな静かなミュージカルもあるのかと驚きました。コキアン役の立川さんの声がエネルギーに満ち溢れていて、何だかマイクを使うのがもったいないと感じました。また、キキ役の杉村さんは、セクシーな部分にも茶目っ気があり、強気で且つ芯のある女性を演じていて輝いていました。(木川美樹)

出演者全てが出てくるたび輝いて見えて、いらぬ役いらぬ人がいない舞台って、こういうもののことなのかと感じました。(河野弥生)

コキアンが偽りでなくフィレモンになる事は予測していましたが、悟りを開いた瞬間の演技の切り替わりが解り易く、改めて役者さんはすごい、と思いました。(山崎菜央)



マネ協が社員団体として支えている映像実演権利者合同機構（PRE）からの広報です。

## <PRE報告 その12>

小野伸一（PRE担当理事）

昨年7月から守屋理事に代わって、PRE担当理事を務めております。分からないことばかりで、日頃の不勉強を痛感しております。

山崎理事長、守屋理事の指導を頂きながら、担当理事として尽力したいと思います。

PREの平井事務局長が逝去された。享年57歳という若さだった。

権利処理の効率を図るためPREX導入を進め、その縁の下の力持ち的な働きはPREにとって大きな存在だった。昨年12月NHKのオンデマンドが始まり、民放各局もオンデマンドを開始する局もあり、これから沢山の権利処理に謀殺される矢先のことで、PRE職員たちにとっては大きな支柱を失った感じだろう。またPREの理事である私たちも羽根をもがれたような喪失感を味わっている。合掌。

## ●●●健康診断のご報告●●●

昨年6月19日・20日、代々木病院健診課にて、マネ協会員社の為の集団健康診断が実施されました。受診者は26社172名、皆さん忙しいなか時間を作って受診していました。忙しいからこそ健康管理ですので、今年の健康診断にも多くの方がいらして頂ければと思います。

## 2008.11.16 マネ協研修会報告

担当理事：守屋俊郎

「笑っていいとも」でタモリも絶賛(?)していた龍宮城(ホテル三日月・木更津)にて13社24名の参加を得て今回の研修会は開催された。映画・動画系加盟社からの参加が諸事情によって例年に比べて少なく、寂しい感がないでもなかったが15時から17時30分までの2時間半にわたっての研修会は、テーマに沿って活発に意見交換がなされた。

担当理事の司会進行のもと、まず「マネ協の現状と展望」について話し合われた。

○マネ協を取り巻く現状としては以下の発言があった。

- 一部の民放にランク制度崩壊の兆し
  - 友好団体と位置付けている日俳連の一部役員もランク制度の廃止を主張
  - 一部オーディオ系加盟社の分派的行動
  - 他の事業者団体と比較して団体としてのマネ協の活動が積極的、行動的と言えない
- などの発言に対しそれらの打開および展望として以下の発言があった。
- ランク制度成立の経緯、意義を今一度、民放および日俳連と話し合うべき
  - ランク制度は、局と実演家のためにこそあることを知らしめる
  - マネ協に加盟していることの意義が、より明確になれば、分派活動はない
  - 加盟社、特に若い事業者・スタッフの意見が理事会に反映されるようにすべき

- その一つの方策として現有、新設も含めての委員会活動を活発に
  - マネ協は団体としての魅力に欠けてはいないか?
  - それには何があるか?
  - 独自の企画、事業の推進こそ最大の打開案
  - 事業の推進および部内活動のための安定した資金力
  - 他の事業者団体同様、マネ協で権利処理を行う
  - 会費収入増のため、新会員の飛躍的増員を図る
  - 新会員の勧誘のためにも権利処理を独自で行うべきだ
- 等などの意見が交わされたが、出席理事は理事会に諮ったうえで、これら加盟社の意見を具体的に推し進めることを約し、閉会した。



その後、公式の懇親会(?)を経て、例の如く一室を開放しての意見交換会(飲み会?)が始まり、談論風発、大言壮語、侃々諤々、喧々囂々、流言飛語・・・、それは丑三つ時の頃まで延々と続き、多くの有意義な意見が語られた(と思う)のだが、翌朝、目覚めて昨夜のことを思い返そうとした小生の記憶中枢の扉は、頑として閉じられ開くことはなかった。

# [マネ協・会員事業者リスト：127社/h.21年2月]

(株)アーツビジョン	劇団グスタフ[(株)オフィスK&K]	(株)オフィスのいり
(株)アート	クレイン・リバー[(株)ラガ・イ内]	(株)オフィス野沢
アール・エム・イー(株)	(株)黒沢良事務所	(株)ノックアウト
(株)アイエス	(有)ケイエムシネマ企画	ハイパーボイスマネージメンツ
(株)アイムエンタープライズ	(有)ケッケコーポレーション	(有)劇団俳優座
(株)青ニプロダクション	(有)賢プロダクション	(株)ぶろだくしょんバオブ
(株)アクセント	(有)元氣プロジェクト	オフィスP.A.C
アクターズ・カンパニー	(有)現代制作舎	(株)Pカンパニー
(株)アクターズセブン	(有)ケンユウオフィス	(有)ビーボ
production Axel[(有)DIS]	(株)コスモスペース	(有)B-Box
アスク・マネージメント	(株)オフィスコバック	LLC 平野企画
(株)アズリードカンパニー	(株)さち子プロ	(有)ファイブ エイト
(株)アクトップ	(株)三桂	(有)フィーニス
(株)アドヴァンスプロモーション	(株)CSRコーポレーション	プランニング・メイ(有)
(有)アルファエージェンシー	(株)オフィスCHK	(株)古舘プロジェクト
(株)E-spring	(有)ジェイ.クリップ[リベルタ]	(有)プロ・フィット
(有)イイジマルーム	(株)シグマ・セブン	劇団文化座
(有)イエローテイル	(株)仕事	(株)文学座
声の劇団イメージ	(有)シス・カンパニー	(株)放映新社
(有)岩淵ぐるうぶ	(有)スターダス・21	(株)宝映テレビプロダクション
(株)ウイットプロモーション	劇団昂	(有)劇団朋友
WinnerEntertainment[Powered by ウけ(株)]	青年座映画放送(株)	(株)舞プロモーション
(株)エーエス企画	(有)宝井プロジェクト	(株)マウスプロモーション
(有)ぶろだくしょんA組	(有)田上事務所	(有)オフィスまとは
(株)81プロデュース	(有)竹内事務所	(有)ミズキ事務所
(有)エスプレイング	(有)プロダクション・タンク	(株)劇団民藝
(株)エヌ・エー・シー	(株)テアトル・エコー	(株)ムーブマン
(株)エ・ネスト	TAG(東京アナウンス学院)	(有)メディアフォース
(株)エム・アール	(有)TABプロダクション	(有)オフィスもり
M.M.P	(有)オフィス・ティービー	(株)矢島聰子事務所
(有)エムカンパニー	(株)ディー・オー・エー	(有)山田栖峯子事務所
(有)えりオフィス	(株)オフィス・テン	(有)惟プロダクション
(株)円企画	(有)東京芝居倶楽部	(株)ゆーりんプロ
(有)エンパシィ	(有)プロダクション東京ドラマハウス	(株)ヨコザワ・プロダクション
(株)大沢事務所	東京俳優生活協同組合	(有)ライターズカンパニー田畑富久子事務所
(有)大平プロダクション	(株)同人舎プロダクション	(株)ラヴァンス
OYSプロデュース	(株)劇団東俳	(株)リマックス
落合事務所	トム・プロジェクト(株)	YAG(代々木アニメーション学院)
劇団權	(株)トライアルプロダクション	(株)劇団若草
(有)オフィス薫	(株)トライサム	(有)オフィス・ワット
(有)活動屋	(有)トリトリオフィス	(有)ワンダー・プロダクション
(株)キリンプロ	(有)劇団21世紀FOX	
銀プロダクション	ネクシード(株)	

## 賛助会員一覧

(2009年2月現在)

<法人> (中)映像実演権利者合同機構  
 (株)NHKエンタープライズ  
 (株)オセロット  
 紀伊國屋ホール  
 (株)C.A.L  
 (株)松竹京都撮影所  
 松竹(株)  
 (株)テレビ朝日

(株)テレビ東京  
 (株)東京現像所  
 (株)TBSテレビ  
 (社)日本劇団協議会  
 日本テレビ放送網(株)  
 (株)俳優座劇場  
 (株)フジテレビジョン

<個人> 山岸 伸

## ■(賛助会員)加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。  
入会の際は理事の推薦が必要です。
- 会費は <法人> 1口 100,000円  
<個人> 1口 30,000円  
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。

# MOVEMENT REPORT

## <2008年6月>

- 6日 オーディオ三者 [マネ協・日俳連・音声連] 小会議 (音声連)
- 11日 マネ協オーディオ実務小委員会 (マネ協)
- 18日 常務会・第39回定例理事会 (マネ協)
- 19日 集団健康診断 (代々木病院健診課)
- 20日 //
- 23日 映像演劇委員会 (マネ協)
- 25日 オーディオ二者 [マネ協・日俳連] 会議 (日俳連)

## <7月>

- 1日 オーディオ二者、実務小委員会 (日俳連)
- 2日 テレビ朝日・テレビ東京・三団体 [マネ協・劇団協・日俳連] 会議 (日俳連)
- 7日 映像演劇委員会 (マネ協)
- // オーディオ三者 [マネ協・日俳連・音声連] 実務小委員会 (日俳連)
- 8日 映像対策会議 (日俳連)
- 11日 映像演劇委員会 (マネ協)
- // 公演打合せ (あうるすぽっと)
- 15日 マネ協オーディオ実務小委員会 (マネ協)
- // 常務会・第40回定例理事会 (テアトル・エコー)
- 22日 CS事業者・オーディオ三者、会議 (音声連)
- 25日 公演打合せ (マネ協)
- 30日 テレビ朝日・三団体、会議 (日俳連)
- // オーディオ三者実務小委員会 (日俳連)
- 31日 対内委員会 (マネ協)

## <8月>

- 4日 対内委員会 (ベニーレベニーレ)
- 6日 動画協会・オーディオ三者、会議 (トムス)
- 11日~15日 夏季休業
- 18日 オーディオ三者小会議 (音声連)
- 19日 映像演劇委員会 (マネ協)
- 20日 動画協会・オーディオ三者、会議 (トムス)
- 21日 マネ協オーディオ実務小委員会 (マネ協)
- 29日 臨時常務会 (マネ協)

## <9月>

- 3日 オーディオ三者小会議 (音声連)
- 8日 公演スタッフ会議 (マネ協)
- // 動画協会・オーディオ三者、会議 (トムス)
- 9日 常務会・第41回定例理事会 (マネ協)
- // ビアパーティー (ベニーレベニーレ)
- 10日 オーディオ三者小会議 (音声連)
- 16日 オーディオ三者小会議 (音声連)
- 18日 テレビ東京・三団体、会議 (日俳連)
- 22日 臨時常務会 (マネ協)
- // マネ協オーディオ実務小委員会 (マネ協)
- 26日 TBS・三団体、会議 (日俳連)
- // テレビ朝日・三団体、会議 (日俳連)
- 29日 日本声優ユニオン・マネ協常務会&実務小委員会、会議 (マネ協)
- 30日 動画協会・オーディオ三者、会議 (トムス)

## <10月>

- 5日 公演スタッフ会議 (マネ協)
- 8日 日本テレビ・三団体、会議 (日俳連)
- // オーディオ三者小会議 (日俳連)
- 14日 公演打合せ (マネ協)
- 15日 臨時社員総会 (芸能花伝舎1-1)
- // オーディオ三者小会議 (音声連)
- // 常務会・第42回定例理事会 (マネ協)
- 16日 オーディオ部会「説明会」(神谷町第3ルーム)
- 21日 動画協会・オーディオ三者、会議 (トムス)
- 23日 オーディオ委員会 (マネ協)
- 24日 三団体会議 (日俳連)

## <11月>

- 5日 オーディオ三者小会議 (日俳連)
- // オーディオ三者実務小委員会 (日俳連)
- 11日 公演打合せ (マネ協)
- // 常務会・第43回定例理事会 (マネ協)
- 12日 マネ協オーディオ実務小委員会 (マネ協)
- // オーディオ三者小会議 (ノニカフェ)
- // 動画協会・オーディオ三者、会議 (トムス)
- 13日 公演宣伝会議 (マネ協)
- 16日~17日 秋季研修旅行in木更津 (龍宮城スパホテル三日月)
- 18日 オーディオ三者小会議 (音声連)
- 19日 マネ協オーディオ実務小委員会 (マネ協)
- 21日 オーディオ三者会議 (音声連)
- 26日 動画協会・オーディオ三者、会議 (トムス)
- // テレビ朝日・マネ協、打合せ (テレビ朝日)
- 27日 オーディオ三者小会議 (音声連)

## <12月>

- 1日 公演顔合わせ (スタジオP)
- 2日 マネ協オーディオ実務小委員会 (マネ協)
- 5日 日本テレビ・二団体 [マネ協・劇団協] 会議 (日本テレビ)
- 9日 常務会・第44回定例理事会 (テアトル・エコー)
- 12日 会報取材 (NHK)
- 15日 テレビ朝日・マネ協、打合せ (テレビ朝日)
- 22日 映像演劇委員会 (マネ協)
- // 対内委員会 (マネ協)
- 24日 三団体会議 (日俳連)
- 29日~1月2日 年末年始休業

# マネ協新加入事業者の紹介

## (有)ケイエムシネマ企画

160-0022  
新宿区新宿1-30-10  
コンドウ第二友栄ビル301



代表者  
山下 真理子



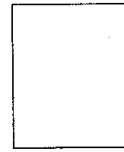
社員代表  
同 左

## production Axel [有DIS]

151-0061  
渋谷区初台  
1-54-4-206



代表者  
松尾 美智子



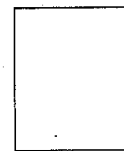
社員代表  
鳩山 謙太郎

## (有)エンパシ

〒104-0061  
渋谷区渋谷1-3-18  
ピラモデルナA-806



代表者  
有賀 英則



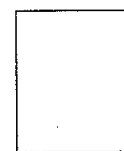
社員代表  
同 左

## (株)Pカンパニー

171-0021  
豊島区西池袋  
3-17-11-202



代表者  
林 次樹



社員代表  
同 左

<退会事業者>

DRA[放送表現教育センター]

# 編 集 後 記

今回から、理事長と業界の方との対談を企画しました。第1回は、NHKドラマ部長の吉川様です。読み応えのある充実した内容で、心から感謝致します。(T)

今回新春対談の編集をさせて頂き、とても有意義なお話を聞かせて頂くことが出来ました。マネージャーや俳優が制作の方達と一丸となって業界を盛り上げて行くことが出来れば、と思います。(W)

地球温暖化の影響でしょうか、今年は「寒さはまだこれから?」と思いながら気が付いたらもう春がすぐそこ、といった感じです。温暖化と同じように他の分野でも異変続き、なんて事のないことを願いたいものです。(H)

昨年9月から始まった「理事会便り」で色々ご報告をしている為、今回の会報は、イベント報告が増え写真も増えました。対談記事などで、文字と写真とのバランスを取っていますので、全体として読みやすくなって良いのでは……と思いますが、如何でしょうか。(I)

編集スタッフ連名/豊田紀雄・若泉絵子・佐藤達郎・平山雅久・伊藤 信

## <2009年1月>

- 8日 常務会・第45回定例理事会 (マネ協)
- // 新年会 (ベニーレベニーレ)
- 13日 公演打合せ (あうるすぽっと)
- // 公演打合せ (マネ協)
- 20日 常務会・マネ協オーディオ委員会 (マネ協)
- 22日~28日 第3回マネ協プロデュース公演、ミュージカル「フィレモン」 (あうるすぽっと)
- 26日 二団体 [マネ協・日俳連] オーディオ会議 (マネ協)